

23GHz帯無線伝送システムの偏波多重技術採用に伴う 無線エントランスシステムとの共用条件検討について

2018年12月21日

株式会社NTTドコモ
KDDI株式会社
ソフトバンク株式会社

23GHz帯無線伝送システムの偏波多重技術採用に伴う無線エントランスシステムとの 共用条件検討について

23GHz帯無線伝送システムのアンテナの交差偏波識別度、22GHz帯無線エントランスのアンテナの交差偏波識別度がそれぞれ十分に確保できることにより、許容プリアス発射強度は平成24年6月19日の情報通信審議会情報通信技術分科会放送システム委員会報告にて実施した共用条件と同じように計算した結果、現行の共用条件のままで問題ないと考えます。

- 23GHz帯無線伝送システムから22GHz帯無線エントランスシステムへの干渉
・受信側（エントランス）の交差偏波識別度を25dB確保できた場合、
許容プリアス発射強度は同等と判断できる。

主偏波の強度 (-33dBmの真値)	交差偏波の強度 (-58dBmの真値)	両偏波成分の和	
		真値の和	dBmに変換
0.000501187	1.58489E-06	0.000502772	-32.98628807

- 22GHz帯無線エントランスシステムから23GHz帯無線伝送システムへの干渉
・受信側（無線伝送）の交差偏波識別度を25dB確保できた場合、
許容プリアス発射強度は同等と判断できる。

主偏波の強度 (-10dBmの真値)	交差偏波の強度 (-35dBmの真値)	両偏波成分の和	
		真値の和	dBmに変換
0.1	0.000316228	0.100316228	-9.986288072